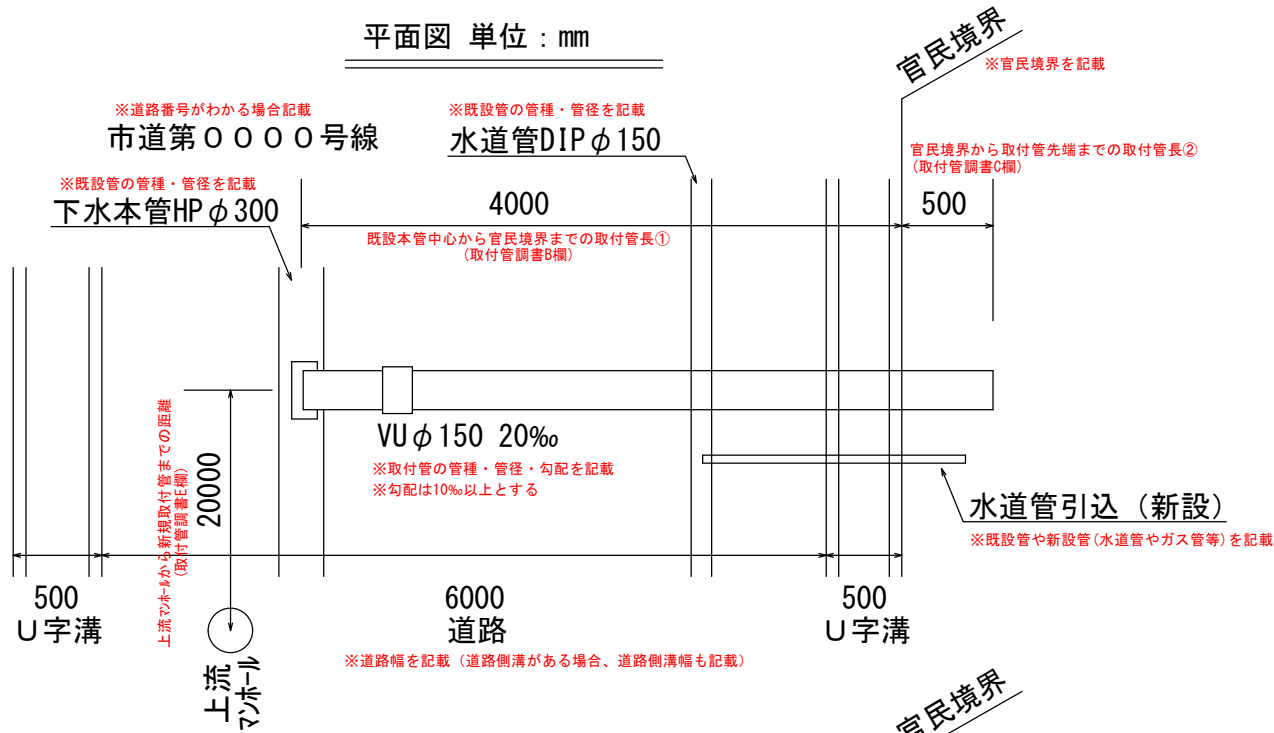


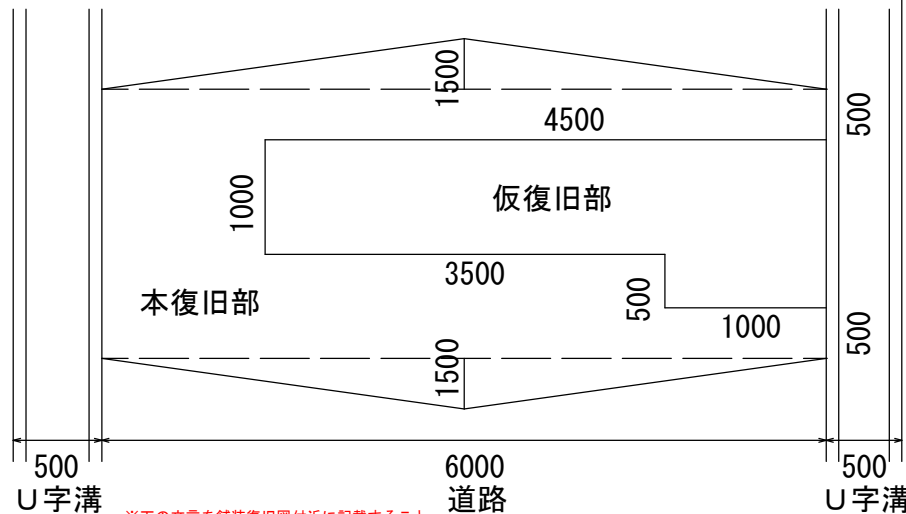
平面図 単位：mm



平面図

舗装復旧図 単位：mm

※下の図は、舗装幅員5.5m以上の場合の参考図



※舗装の復旧は、仮復旧と本復旧の両方を記載すること。

※仮復旧と本復旧の詳細についての問い合わせ先は

①施工箇所が市道の場合、東松山市役所建設管理課

②施工箇所が県道の場合、東松山県土整備事務所

(注意) 復旧方法等を必ず申請前に確認すること。

※区画線は、仮復旧と本復旧の両方です。ただし、仮復旧では、

簡易スプレーでの復旧を可とする。

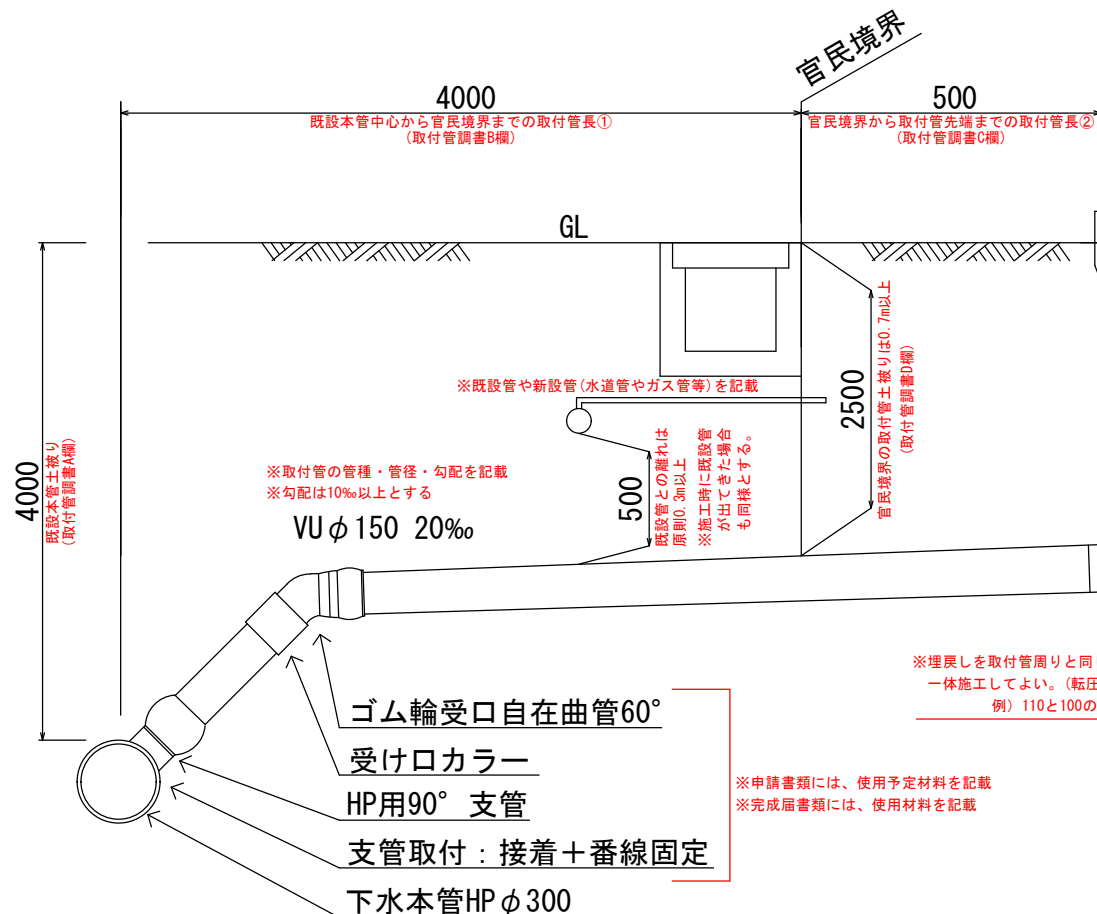
※本復旧は、申請地で行う全ての新設管(水道管やガス管等)を考慮した形を記載すること。

※下の文言を舗装復旧図付近に記載すること。

復旧範囲が絶縁線や構造物まで1.2m未満の場合、絶縁線等まで復旧します。

断面図

断面図 単位：mm



※既設管の管種・管径を記載
※本管が浅く通常の支管では所要のかぶりを確保できないときは、浅埋支管の使用を検討すること

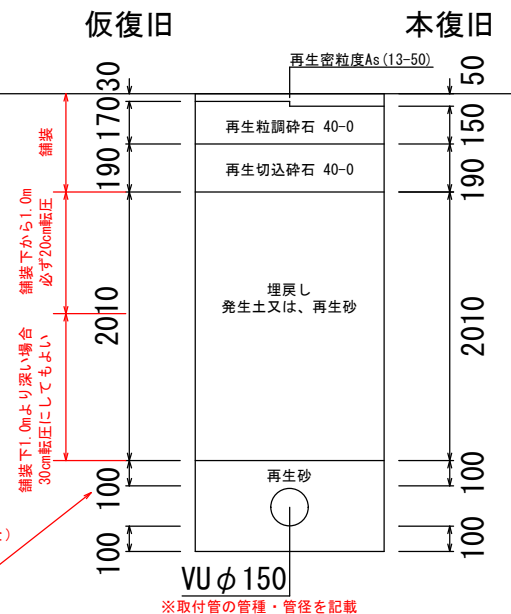
※申請書類には、使用予定材料を記載
※完成届書類には、使用材料を記載

※埋戻しを取付管周りと同じ再生砂でする場合
一体施工してよい。(転圧厚は超えないようにすること)
例) 110と100の合計210 < 転圧厚

プラスチック杭等で取付管先端位置が
わかるように明示すること。

※宅内最終マスを設置する場合
東松山市役所上下水道経営課
に確認すること。

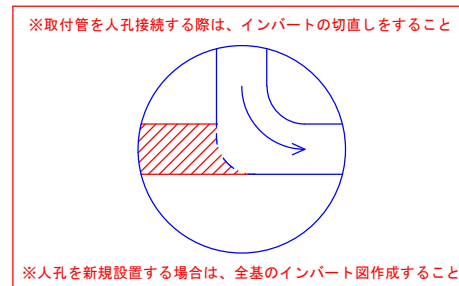
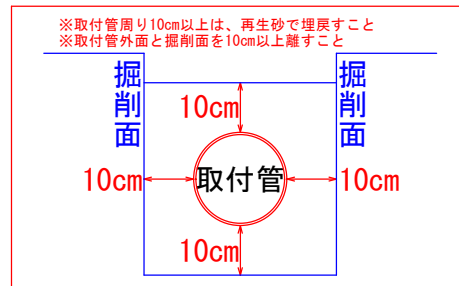
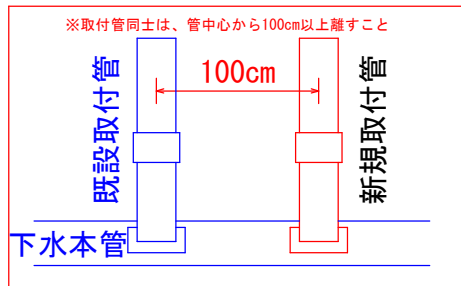
掘削埋戻図 単位：mm



※下の文言を掘削埋戻図付近に記載すること。

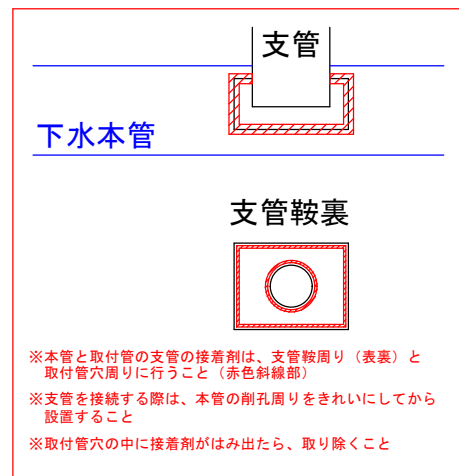
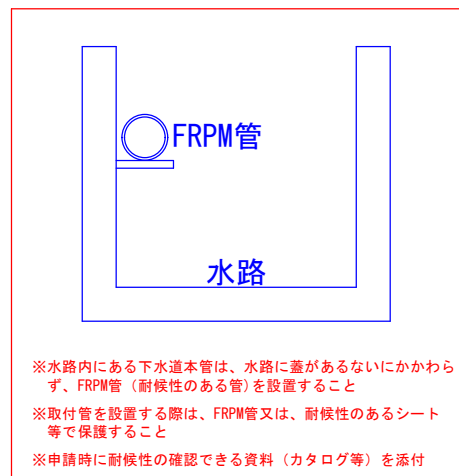
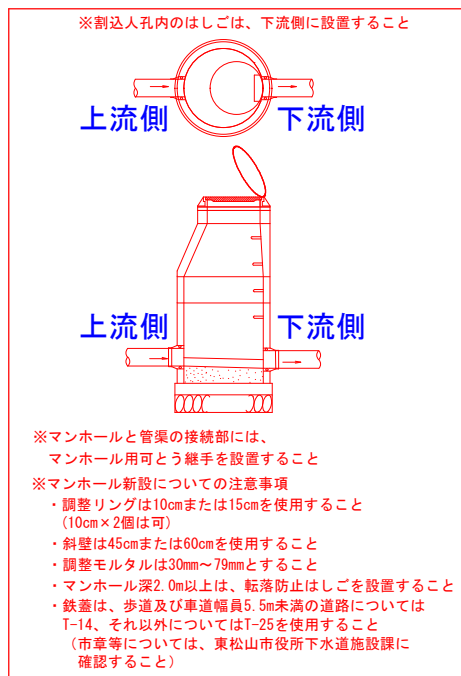
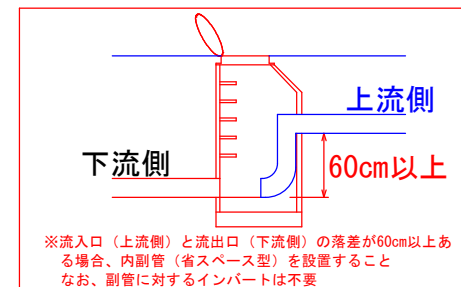
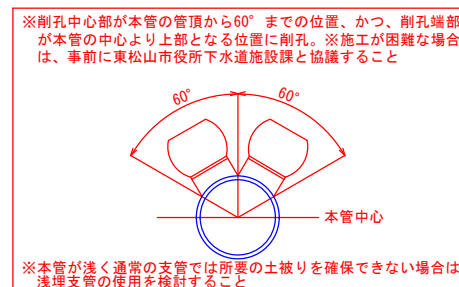
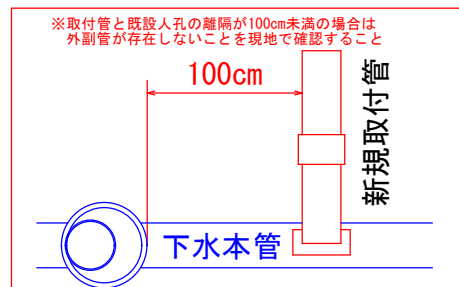
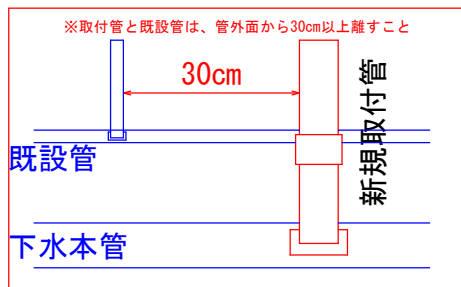
道路組成および路面標示は、現形復旧します。

※取付管調書D欄の位置の図を作成すること。
※仮復旧と本復旧の詳細についての問い合わせ先は
①施工箇所が市道の場合、東松山市役所建設管理課
②施工箇所が県道の場合、東松山県土整備事務所
注意) 復旧方法等を必ず申請前に確認しておいてください。
※仮復旧と本復旧の両方を記載すること。
※地下水がある場合、埋戻しに再生砂を使用すること。



その他参考図

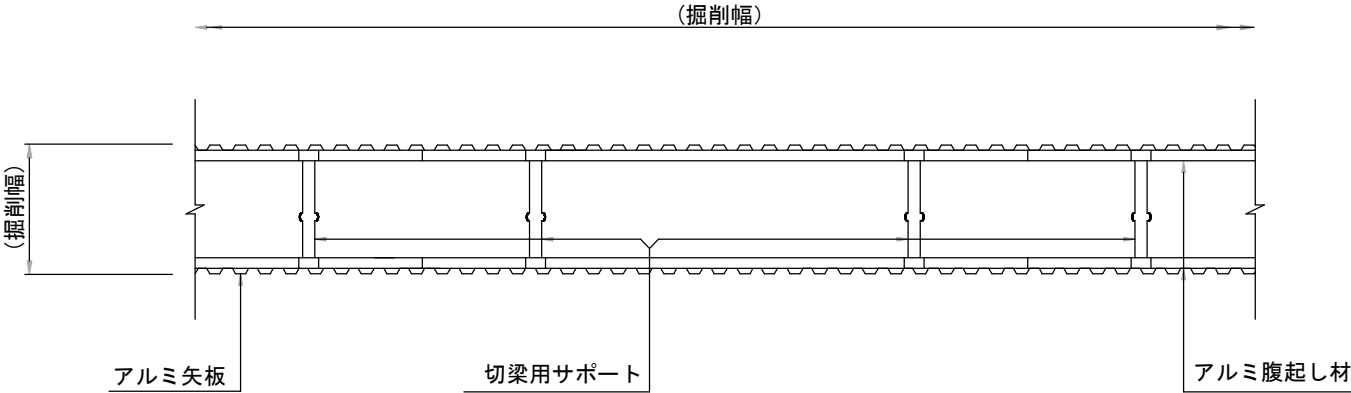
※既設部を青色、新設部とコメント等を赤色で記載
※その他図例に記載のない事項については、事前に
東松山市役所下水道施設課に確認すること



山留工図 単位：mm

山留工図

平面図



断面図

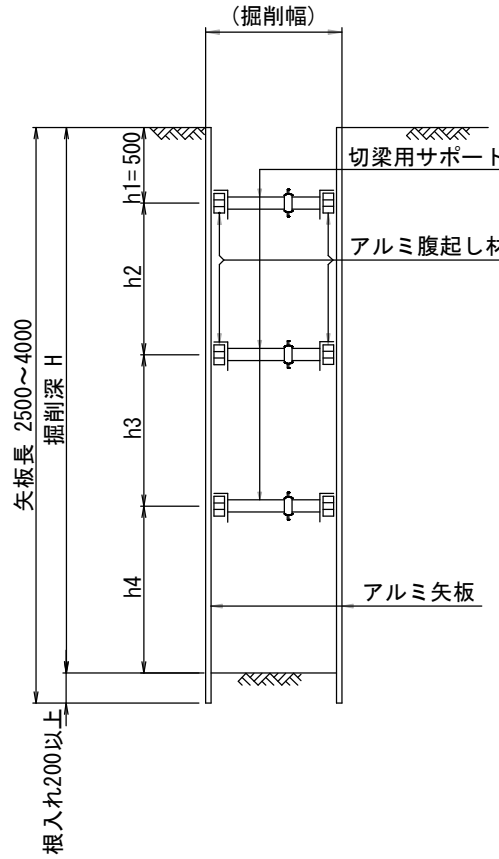
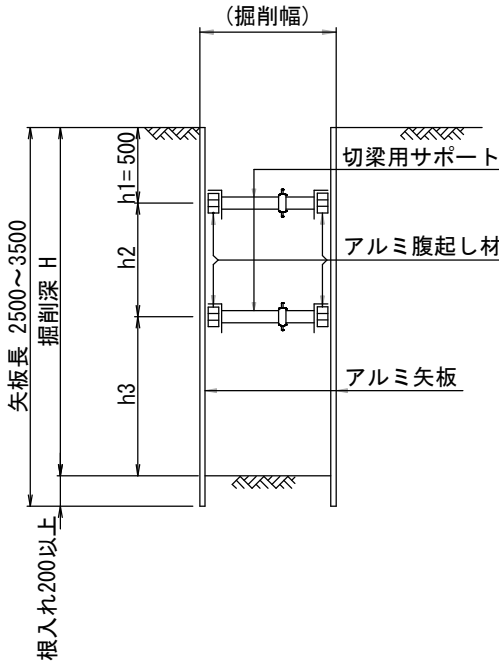
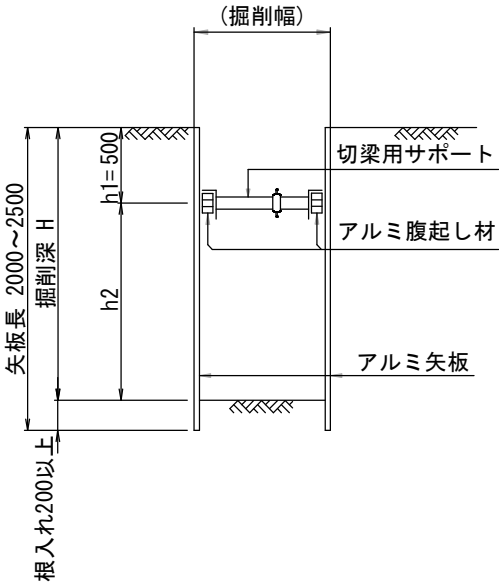
1500<H≤2000
(支保工 1 段)

2000<H≤3500
(支保工 2 段)

3500<H≤3800
(支保工 3 段)

アルミ矢板建込工の支保工段数

掘削深 (m)	支保工段数 (段)
H≤1500	素掘り
1500<H≤2000	1
2000<H≤3500	2
3500<H≤3800	3



※図示される配置は、あくまで参考です。予定掘削幅や予定掘削深に合わせて図を作成すること。